

■ Fedora 11 手順書 補足

< 21.5 インチワイド液晶モニタ IO-DATA LCD-MF221XWR ご使用上の注意点 >

この補足書は、夏目坂モデル、夏目坂 64、行人坂モデルの マザーボード GIGABYTE EG45M-UD2H 搭載モデルで、LCD-MF221XWR をお使いになる場合の注意事項を記載しています。

■ ディスプレイ接続に関する注意事項

夏目坂モデル、夏目坂 64、行人坂モデルの マザーボード GIGABYTE EG45M-UD2H 搭載モデルで LCD-MF221XWR をお使いになる場合、液晶モニタとマシンを DVI で接続される場合には明示的に解像度を設定する必要があります。

※ VGA 接続の場合にはこれらの設定は必要ありません。

液晶モニタとマシンを DVI で接続される場合に以下の設定を行っていない場合、画面の左右が黒く切り取られ、アスペクト比 (画面の横縦比) 4:3 の画面が表示された状態となりますが、こちらは動作不良ではございません。

以下の設定を行っていただくことにより、ワイド画面をフルに活用した画面表示ができるようになります。

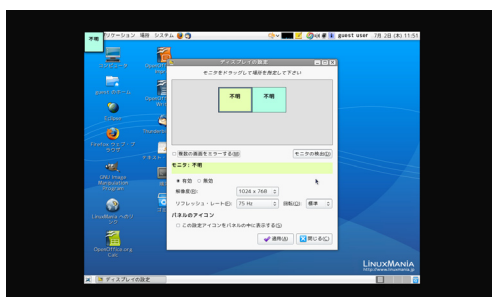
また、OS の再インストール時およびカスタマイズディスク適用時も上記の状態となりますので、その場合はカスタマイズディスク適用後に以下の設定を行ってください。

■ 設定方法



1. 画面左上の GNOME メニューからディスプレイ設定ツールを起動します。

[システム] → [設定] → [ディスプレイ]



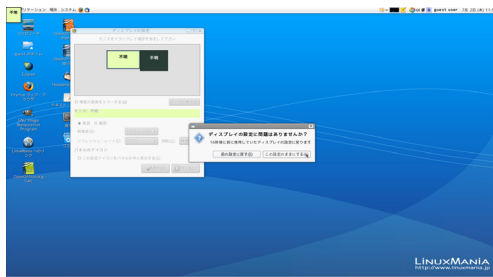
2. [複数の画面をミラーする] という項目のチェックを外します。



3. モニタの図が2つ表示されます。
右側のモニタをクリックして選択し、解像度を「1920 × 1080」に設定します。



4. 左側のモニタをクリックして選択し、「無効」を選択します。
[適用する] ボタンを押します。



5. 設定が反映されます。
[この設定のままにする] ボタンを押して設定を確定させます。
- ※ 「Your System had a kernel failure」というメッセージが表示されることがありますが、問題はありませんのでウィンドウは閉じてください。